

課題番号：24

課題名		廃炉プロセス「PCV/RPV/建屋の解体」 検討対象「分別シナリオ」 課題「 α β γ 分別基準の設定」	
ニーズ		望ましい状態とその理由	(参考) 関連する研究課題
1	廃棄物を合理的に分別したい。	●PCV/RPV/建屋の解体によって、処理・処分すべき廃棄物の種類と物量が影響を受ける。そのため、処理・処分を見越したPCV/RPV/建屋の解体方法、特に廃棄物を分類する際の考え方・基準を合理化することが望まれる。（より手厚い処理・処分を要する廃棄物量を低減し、より簡便な処理・処分に対応可能な廃棄物量を相対的に増やす方が望まれる）。 ●このためには、処理・処分側から、PCV/RPV/建屋の解体側に要件や要求事項、留意事項が示されることが望まれる。 ●また、合理化された考え方・基準に対応した測定方法・分別方法等の整備・開発が望まれる。 ●発生する建屋廃棄物表面の汚染について迅速に α 、 β 、 γ 汚染を計測できることが望まれる。	H28年度英知「汚染コンクリートの解体およびそこから生じる廃棄物の合理的処理・処分の検討」
			廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分にに関する研究開発（先行的処理手法及び分析手法に関する研究開発）」
			廃炉・汚染水対策事業「固体廃棄物の処理・処分にに関する研究開発」
関連する課題		○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。 ○また、「PCV/RPV/建屋の解体」と「輸送・保管・貯蔵（燃料デブリに由来する α 核種が含まれる廃棄物含む）」を結ぶ「キャラクターゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。	